



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/> E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.39 2008.2.19

発行 のの山けん事務所

〒115-0042志茂4-6-15

ご相談は
お気軽に

090-2156-3510

2月22日より北区議会第1回定例会

来年度予算概要しめされる

●切実な区民要求の実現へ、全力をあげる日本共産党北区議員団

2月22日より、北区議会第1回定例会がはじまります。これに先立ち、北区は「平成20年度予算案の概要」を発表しました。

一般会計の予算規模は1336億2千万円で、前年度に比べ5・6%の増となっています。主な新規事業として、学力パワーアップ事業（2億2604万円）、学校改築（王子小・王子桜中、西浮間小など93億4544万円）、駅周辺バリアフリー化整備事業（王子駅・上中里・田端で7億7949万円）、脱メタバ大作戦（1080万円）、新中央図書館オープン（9億6770万円）などがあげられています。

日本共産党が、かねてより要求していた出産費用助成の充実については、妊婦健診の公費負担を14回に拡充、23区トップの手厚い支援となります。また、のの山区議が要望していた若者就労支援についても、赤羽駅南口高架下にリニールされる「赤羽しごとコーナー」で、若者・女性

就職相談会が各年4回実施されることになりました。

一方、区の仕事を民間まかせにする指定管理者制度のさらなる推進や300億円を超えた積立金をさらに積み増すなど、問題点も含まれています。日本共産党北区議員団は区民本位の区政実現に向けて、攻勢的な論議に挑みます。

革新懇総会

笠井衆院議員が講演

2月9日、岸町ふれあい館で北区革新懇第13回総会が開かれ、日本共産党の笠井亮衆院議員が「激動する情勢と展望」と題して記念講演をおこないました。笠井氏は「今こそ平和とくらしを守る革新の運動が出番です」と強調し、参加者を激励しました。



あいさつする笠井衆院議員 =2月9日 岸町ふれあい館

北区議会第1回定例会

おもな日程

- 2月22日（金）本会議
日本共産党・福島宏紀議員が代表質問
- 2月25日（月）本会議
日本共産党・さがらとしこ議員が個人質問
日本共産党・中川大一議員が個人質問
- 3月4日（火）～14日（金）予算特別委員会
- 3月21日（金）最終本会議

救急搬送には万全の体制を

のの山区議ら赤羽消防署から救急搬送調査について報告を受ける



赤羽消防署長（右奥）から話を聞く、左奥から、そねはじめ都議、のの山けん区議、さがらとしこ区議。

妊婦や急病人が救急車に乗せられたまま受け入れ病院が見つからずたらい回しにされ、死亡するなどの事故が全国で相次いでいます。2月12日、日本共産党の、そねはじめ都議、さがらとしこ、中川大一、のの山けんの各区議は、赤羽消防署を訪れ、先に依頼していた赤羽地域での救急搬送の実態調査について結果報告を受けました。

調査結果によると、昨年

4月から12月までに赤羽消防署管内で起きた救急事故は7377件で、うち4953件（67・2%）が急病によるものです。救急車から病院へ搬送されるまでの問い合わせ回数は、1回で済んだのが71・1%、2回が12・8%、3回が5・9%となつていますが、6回以上問い合わせたケースも206件（5・1%）ありました。

ある患者の場合、人工透析と脳血管障害のために救急車で運ばれましたが、1時間半かかって27カ所目ようやく受け入れ病院が見つかったとのことでした。

北区では昨年末に350床をもつ東十条病院が廃院となり、北・板橋・豊島・練馬の区西北部医療圏内では基準数より661床もベッドが足りません。のの山区議らは、救急体制についていっそう万全を期すよう、消防署に要望しました。

防災広場整備にむけた論議がスタート

旧志茂
小跡地

※この図は4案示されたうちのひとつです。

2月6日、第12回志茂まちづくり協議会が開かれ、来年度建設される（仮称）志茂子ども交流館につづく防災広場の整備について、たたき台が示されました。今後、ワークショップで継続的に話し合われる予定です。

